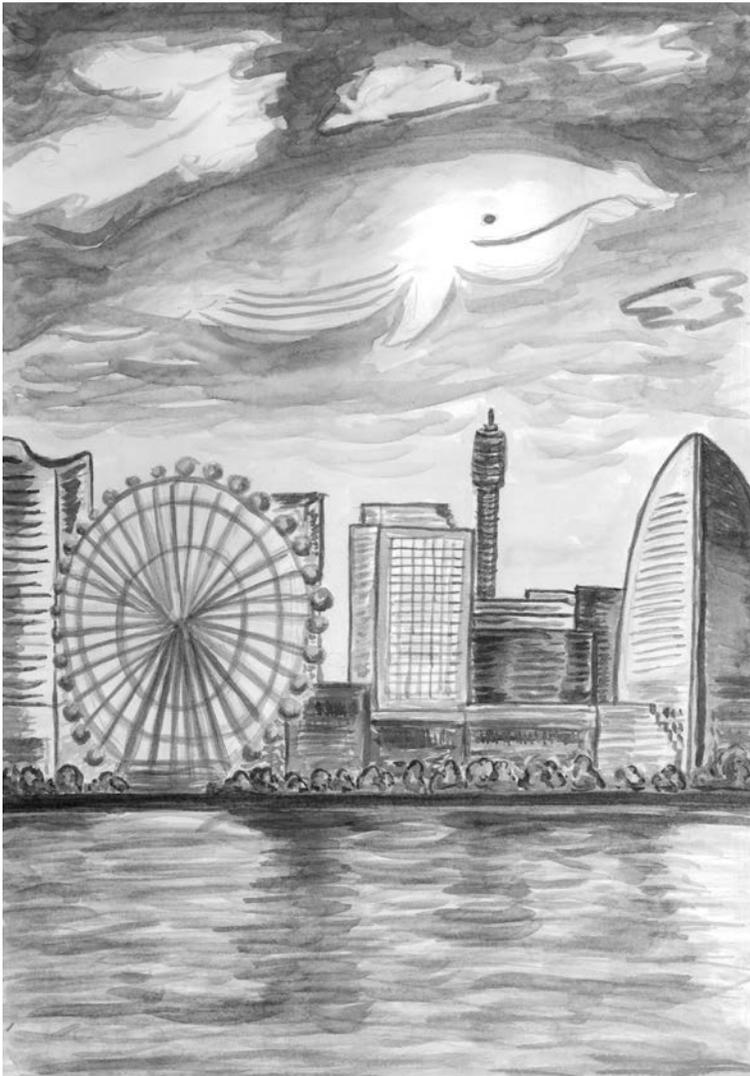


【佳作】

未来への出発地点



コメント

私は、文化奨励賞のタイトルに記されていた「未来は私達の手の手の中」という言葉に心を惹かれました。そして、みなとみらいキャンパスで学ぶ私にとって、ここみなとみらいの街こそが、原点であり、未来へと踏み出す出発地点だと考えました。その思いを込め、希望に満ちたみなとみらいの風景を描きました。作品には、横浜を象徴する観覧車やランドマークタワー、赤レンガ倉庫、マリントワー、インターコンチネンタルホテルを取り入れ、さらに神奈川大学のシンボルである「くじら」を中心に配置しています。

制作の際には、海面に反射する光を意識しながら、色の重なりや透明感を大切にしました。特に、未来の明るさを象徴する「黄色」を多く用い、見る人に希望や前向きな気持ちが伝わるよう工夫しています。また、青い海と空、そして神奈川大学の青いロゴに共通するイメージから、全体を「青」を基調とした色彩で統一しました。水彩画用の水筆を使うことで、柔らかく温かみのある雰囲気表現しています。

国際日本学部 国際文化交流学科2年 大沼花